

未来へのパスをつなごう。



# B.LEAGUE HOPE PLANET HANDBOOK

01. はじめに 前提となる考え方
02. チェアマンメッセージ
03. なぜ今B.LEAGUEがPLANET (環境への取り組み) に力を入れていくのか
04. B.LEAGUE、Bクラブだからできること
05. B.LEAGUE Hope PLANET VISION
06. B.LEAGUEらしいPLANETの取り組み方
07. B.LEAGUEがPLANETで取り組むテーマとカテゴリー
08. B.LEAGUEとしての目標とロードマップ
09. B.LEAGUE Hope PLANET アクション



## 感動立国を実現するために

B.LEAGUEは  
自らの発展を目指すだけでなく、  
社会の一員として、エンタメの力で、  
目の前に立ちはだかる様々な社会課題の解決や、  
未来創造に貢献していく必要性を感じています。  
環境(=PLANET)は、私たちの生きる土台であり、  
感動立国の基盤でもあります。  
その環境を守るPLANETアクションに、  
みんなで挑戦していきましょう。

### 1. No.1ライブスポーツエンタメとPLANETアクションの両立

バスケットボールで地域や日本を元気にするためにエンターテインメントのクオリティを最大限に追求し、ファンの皆さまに楽しんでいただくことを大前提として、環境への取り組みと両立する。

### 2. 地域ごとの課題に向き合った取り組みを推進

地域ごとに事情や課題が異なることを前提に、各クラブが様々なステークホルダーを巻き込みながら、それぞれ個性、特色のある活動をその地域にあった形で推進していく。

### 3. 世界や日本の潮流にあわせてアップデート

環境問題を取り巻く情勢は刻々と変化していくため、今回定めた活動の方向性や目標は、常にアップデートしながら、柔軟に取り組んでいく。



## バスケットボールの力をアリーナの外にも、環境にも。

B.LEAGUEが目指す、「感動立国」。

そこには、「スポーツ」と「スポーツを超えた枠組み」の2つの側面から、日本や地域の未来を明るく元気にしていきたいという願いを込めています。

未来を語るうえではもはや、気候変動をはじめとした環境問題を避けては通れません。すべては、「世界で最も愛されているリーグ」になるために。

B.LEAGUEは、エンタメの追求とともに、プロリーグとしての責任を果たすために環境問題への取り組み「B.Hope PLANET」も加速させていきます。

この先、バスケットボールを楽しめる環境を失わないために。

難しい問題だからこそ、クラブの皆さまが持つライブスポーツエンタメの力が必要です。リーグやクラブのPLANETに関する活動が、地域の環境や活性化の持続に貢献し、その結果としてクラブ経営も持続可能なものになっていく。

クラブが地域のHUBとして、未来になくってはならない存在であり続けるために、リーグも全力で取り組み、支援していきます。

B.LEAGUE チェアマン

島田 慎二

SHIMADA SHINJI



B.LEAGUEは競技の成長とリーグの発展のための制度改革「B.革新」による「夢のアリーナ」と「世界No.1のライブスポーツエンタメ」を追求し、ビジネス改革「SOCIAL INNOVATION HUB」を中心としてバスケット・地域・企業による三位一体の成長をめざしてきました。



そして今、リーグの発展だけではなく、日本の未来に貢献していく社会の一員として、スポーツの概念にとらわれることなく直面している様々な社会課題解決や未来創造に貢献するため、

**2050 VISION「感動立国」を策定。**

 **感動立国**



「B.革新」実現のための戦略領域のうちの1つに  
**サステナビリティの世界水準化**を盛り込み、  
**重点課題に設定。**



「スポーツの力」による  
「Social Innovationの実現」のために

2016年のリーグ創設期から  
取り組んできたB.Hopeにおいて、  
3つの柱の1つである  
「PLANET」領域へ  
より注力していきます。

PEOPLE・PEACE・PLANETの3つの領域において  
社会的責任活動を推進。



※PLANETで掲げた活動範囲も、PLANET VISIONにあわせて見直しを実施。





B.LEAGUE・Bクラブは、3つの強みを生かして地域のハブとして環境活動を身近にし、アリーナを拠点として地域全体を巻き込み、大きなコミュニティとして実践することで、持続可能な地域社会づくりに貢献していく。

## 私たちの3つの強み

### 地域密着力

地域のことをわかっているから、地域ごとの課題に対応できる

### 巻き込み力

影響力のある発信により、人や企業を巻き込むことで、大きなうねりを生み出せる

### エンタメの力

みんなが楽しみながら参加できるから、持続可能な活動にできる



エンターテインメントとしてのクオリティを最大限に追求していくことを前提に、  
B.LEAGUEらしいやり方でPLANETに取り組んでいく。

**WHAT**

**何に取り組むか**

リーグやクラブにとっての責任と使命として、クラブ経営と試合等の興行と地域貢献の3つの領域でPLANETについての取り組みを推進していく。



**WITH**

**誰と取り組むか**

リーグやクラブのみならず、ファンの皆さまやスポンサー企業や自治体と連携して推進することで、取り組みを社会ごと化し、持続可能なものにしていく。

**HOW**

**どうやって取り組むか**

PLANETのビジョンやアクションについては、リーグ全体で共有するガイドラインとしてB.LEAGUE Hope PLANET HANDBOOKを作成し、実践していく。  
実践しながらこのHANDBOOKを皆さんといっしょにアップデートしていく。





# B.LEAGUEがPLANETで取り組むテーマ

気候変動対策  
(CO<sub>2</sub>の削減)

循環型社会の  
実現

生物多様性への  
取り組み

リーグ・クラブそれぞれが6つのカテゴリでPLANET アクションに取り組んでいく。

#1

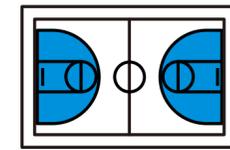


クラブ経営

### 組織運営

リーグやクラブの経営における方針策定、体制の整備やオフィスにおける取り組み

#2



会場運営

#3



移動・宿泊

#4



飲食

#5



グッズ

#6



地域課題解決

### 地域貢献

それぞれの地域の背景や課題に合わせた課題解決のための取り組み

カテゴリ内容			気候変動対策	循環型社会	生物多様性
組織運営	#1 クラブ経営	<p>持続可能な社会実現に向けた活動を行うにあたって、世の中に責任を果たすために企業・組織として実行すべきアクション (例：体制構築、社内教育や啓発、クラブ経営におけるCO<sub>2</sub>排出量の把握、統合レポート等による情報開示を含めた対外的な発信)</p>	●	●	●
	#2 会場運営	<p>試合やイベント等の興行を運営するにあたり必要となる制作・装飾物・進行等の領域におけるCO<sub>2</sub>やゴミの削減アクション (例：制作物の使いまわし、リース品の積極活用、再生可能な素材による制作)</p>	●	●	
興行	#3 移動・宿泊	<p>チームスタッフや選手、関係者、ファン等、興行に関連する人々の移動により発生するCO<sub>2</sub>の削減アクション (例：EVの利用、車両の使用台数削減、公共交通機関利用の推奨)</p>	●		
	#4 飲食	<p>飲食物の販売過程により発生するCO<sub>2</sub>やゴミの削減アクション (例：サステナブルな食品メニュー、脱プラスチック素材、コンポスト設置)</p>	●	●	
	#5 グッズ	<p>グッズの制作過程において排出されるCO<sub>2</sub>やゴミの削減アクション (例：端材を活用したグッズ制作、使用済みアイテムの回収とアップサイクル)</p>	●	●	
地域貢献	#6 地域課題解決	<p>アリーナ興行の領域にとどまらず、サステナブルな地域社会の形成のために地域課題に取り組む様々なアクション (例：啓発のための情報発信、セミナー、フードドライブ、地産地消推進、生物保全活動、スポンサー共同の大気汚染対策、Pick &amp; Shoot等)</p>	●	●	●



## フェーズ1

2025 - 26シーズン[1年]

✓ 環境課題、アクションへの認識を高める

- 環境における認識を持ち、各クラブに即した計画を立てる
- 各クラブのナレッジシェアやハンドブックのブラッシュアップを実施
- 目標については実態を計り次第検討

—

## フェーズ2

2026 - 27シーズン~[2年]

✓ 各地域の課題に沿ったアクションのPoCを実施

- 興行、イベントにおいて、ステークホルダー(パートナー企業等)アクションのPoCを実施
- 地域課題に即したアクションのPoCを実施

B.LEAGUE PREMIER、B.LEAGUE ONE  
全クラブ

一部アクションの義務化(ライセンス基準等)や  
分配金等評価指標への算入も検討する

## フェーズ3

2028 - 29シーズン~[2年]

✓ アクションを定着化  
✓ 地域を巻き込んで進化させる

- 興行、イベントにおいて、ステークホルダー(パートナー企業等)アクションを定着化
- 地域課題に即したアクションを定常的に実施

全クラブ

興行ガイドライン  
(組織運営含)

#1-5

地域課題解決  
アクション

#6

目標クラブ数

仕組み化

# 具体的なPLANETアクション



# #1 クラブ経営

気候変動対策

循環型社会

生物多様性

## 組織体制の整備

クラブの経営戦略に環境配慮を組み込み、専門部署や責任者を設置しましょう。リーグの方針に基づき、それぞれの方針を策定、アクションを継続していくことが大切です。

ACTION 01

環境領域でのビジョン、方針を策定する。

取り組みのヒント

- ✓ 社内、地域のステークホルダー、子どもたちを巻き込みながら検討してみましょう。

ACTION 02

興行、大規模イベントにおいてCO<sub>2</sub>排出量の削減目標を設定する。

取り組みのヒント

- ✓ 簡易測定をし、削減可能な領域を具体化し、出来ることからスタートしてみましょう。

ACTION 03

サステナビリティ担当部署および責任者を設置する。

取り組みのヒント

- ✓ まずは役割の明確化を行い、必要性が高まれば専門人材の採用を実施してみましょう。

## ステークホルダーとの連携・発信

ファン、スポンサー、自治体等の地域社会と日頃から対話を重ね、その取り組みや成果を積極的に発信することで、地域全体を巻き込む大きな取組みにつながります。

ACTION 04

情報発信を強化する。  
(WEBサイトの掲載、SNSの活用)

取り組みのヒント

- ✓ 日々の発信プランの中に、PLANETに関する取り組みの発信も加えていきましょう。

ACTION 05

サステナビリティ関連の認証取得・第三者との協定等を締結する。

取り組みのヒント

- ✓ ISO等を取得したり、関係省庁や行政と協定を結んだり、信頼性を高める取り組みを考えてみましょう。

ACTION 06

地域のステークホルダーと連携し、環境領域での事業を実施する。

取り組みのヒント

- ✓ クラブの方針に賛同いただけるステークホルダーとの連携を推進してみましょう。



# #1 クラブ経営

## エネルギー効率化

オフィスなど関連施設の空調・照明等についても省エネを推進しましょう。通常のクラブ経営で使う電力を再生可能エネルギーに替えると、環境負荷軽減につながります。

ACTION 07

冷暖房の効率化、  
クールビズ / ウォームビズを推奨する。

### 取り組みのヒント

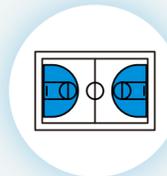
- ✓ 注意喚起のPOPを作る等  
社員の意識向上からスタートしてみましょう。

ACTION 08

自社関連施設の節電を徹底する。

### 取り組みのヒント

- ✓ 小まめに電気を消したり、省エネ設備を導入したり、  
電力契約を再エネプランに変更してみましょう。



## #2 会場運営

1/3

### エネルギー・資源 利用の最適化

興行運営において、エネルギー・水資源の利用の効率化、グリーン電力などのエネルギー活用を進めることで、CO<sub>2</sub>排出の抑制につなげることを目指しましょう。

**ACTION  
01**

灯油などの化石燃料の使用を避け、グリーン電力を使用する。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 再生可能エネルギーを取り扱う電力会社との提携を考えてみましょう。

**ACTION  
02**

使用するガソリン車を、環境に配慮した車両 (EV車両・水素車) などへ積極的に転換する。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 自動車メーカー・ディーラーと連携したり、ショーケースとして活用しPR促進をする等パートナーメリットの建付けも考えてみましょう。

**ACTION  
03**

エネルギーの効率化 (LED照明、空調の省エネ、エネルギー管理システムの導入等) を行う。



#### 取り組みのヒント

- ✓ アリーナ運営会社、行政へメリット (演出自由度、経済効果、環境配慮) を共有して打診してみましょう。

**ACTION  
04**

節水の呼びかけをする。(トイレや手洗い)



#### 取り組みのヒント

- ✓ 行政と連携し、利用者に注意喚起・呼びかけ (POPを作る等) をしてみましょう。

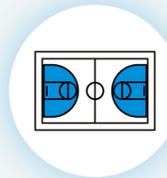
**ACTION  
05**

雨水の再利用を推進する。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 行政と連携して雨水タンクの設置を実施し、スタジアム内の緑化や清掃に活用したり、地域住民からの信頼を得るために環境への配慮をアピールしてみましょう。



## #2 会場運営

2/3

### 3R徹底 | ごみの削減 (リデュース)

ごみ・廃棄物の発生源を特定し、削減策を考え、実行しましょう。使い捨て資材の使用を最小限に抑え、再利用可能な備品や簡易包装を導入するなど、工夫の余地は多くあります。

**ACTION 06**

新規制作物を削減する。  
(レンタル品やシェアリングサービスを活用)



#### 取り組みのヒント

- ✓ 会場でのイベント用品、機材をレンタル会社と連携してみましょう。

**ACTION 07**

プラごみを削減する。



#### 取り組みのヒント

- ✓ エコバッグやマイボトルの推進、会場の装飾等のプラスチック代替等を実施してみましょう。

**ACTION 08**

簡易梱包を採用する。  
(梱包材の廃棄物量を低減)



#### 取り組みのヒント

- ✓ 二重梱包の廃止等により段ボールやガムテープの使用量を減らしましょう。

**ACTION 09**

給水スポットを準備する。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 耐熱用品メーカー等と連携したマイボトルの推進もあわせて企画してみましょう。

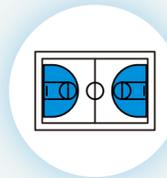
**ACTION 10**

チケットのデジタル化、ゲームデープログラムのデジタル化 / 再生紙化の推進を行う。



#### 取り組みのヒント

- ✓ デジタル化が難しい場合は製紙会社と連携して、再生紙化に取り組んでみましょう。



## #2 会場運営

3/3

### 3R徹底 | リユース

什器や備品などを使い捨てにせず再利用することでゴミの量を削減できます。装飾や備品、イベント資材を再利用可能なデザイン・設計・素材にしておくことも大切です。

ACTION 11

使わなくなった備品、スポーツ用品のリユースを行う。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 行政や小学校と連携し、練習着等の子供達への寄付、オークションの実施を企画してみましょう。

ACTION 12

試合やイベント運営における制作物に関して、長期間使用できる耐久性を考慮した設計・施工を行う。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 何度も使える看板や装飾、ポスター、バナー等をデザイン会社やメーカーと連携して採用してみましょう。

### 3R徹底 | リサイクル・アップサイクル

ゴミは、分別回収を徹底することで再資源化につながりやすくなります。専門業者や外部ステークホルダーと連携し、可能な限り資源が循環できる仕組みを構築しましょう。

ACTION 13

各種備品は再生材の利用やリサイクル性に配慮したものを選ぶ。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 再生紙を使ったゲームデー・チラシを制作したり、再生材を使ったチェアやフロアマットをメーカーと連携して制作してみましょう。(スタッフウェア、スーツ等でも可能(スポンサー検討))

ACTION 14

ゴミの分別を徹底する。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 分別すべきものの整理、POPの設置、ボランティアスタッフの配置・教育を通して分別徹底をしてみましょう。(産業廃棄物会社等と連携等パートナーとの連携)

ACTION 15

分別したゴミのリサイクル、アップサイクル率を高める。



#### 取り組みのヒント

- ✓ ゴミ種類ごとにパートナーと連携してみましょう。(紙ゴミであれば製紙会社、練習着等であればアップサイクル会社と連携して制作する等)



## #3 移動・宿泊

1/1

気候変動対策

循環型社会

生物多様性

### エコ移動の推進

自動車やバス、航空機の利用頻度を下げるなど、スタッフや選手の移動手段を見直しましょう。  
また、ファンには、公共交通機関での来場を呼び掛けてみるのが大切です。

ACTION  
01

ウォークブルを推進する。  
(周辺の歩行環境整備、イベント等を実施)



#### 取り組みのヒント

- ✓ 行政、飲食店と連携したイベント、スタンプラリー等を実施してみましょう。

ACTION  
02

自転車の利用を促進する。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 行政、自転車シェアリングサービス等と連携し、駐輪場を整備してみましょう。

ACTION  
03

シャトルバスを運用する。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 行政、バス会社と連携し、アリーナ等の会場と空港/鉄道駅等とを連結してみましょう。

### 環境に配慮した 宿泊先の選定や提携

環境配慮を徹底している宿泊施設の提携を推進し、エネルギー効率や廃棄物管理が優れた宿泊先を優先的に選定しましょう。

ACTION  
04

環境配慮を実施しているホテルと連携する。



#### 取り組みのヒント

- ✓ スポンサー企業と提携している環境配慮型ホテルを選びましょう。  
(ホテルのPR・稼働率UPにも寄与)

ACTION  
05

宿泊するホテルに対し、  
環境配慮アクションを打診する。



#### 取り組みのヒント

- ✓ ホテルと連携して、環境に配慮した地産地消メニュー、アメニティの脱プラ、エコクリーニングなど、普段のサービスを環境配慮型にすることを相談してみましょう。



## #4 飲食

1/1

### 3R徹底 | ごみの削減 (リデュース)

リユース容器や簡易包装を導入し、飲食販売に伴うごみの発生を抑制しましょう。フードロス削減やコンポストなどを活用して生ごみを資源化することも効果的です。

ACTION  
01

食品ロスを削減する。



取り組みのヒント

- ✓ 入場者に応じた適切な数量を十分に検討して調達したり、廃棄予定の規格外の食材を活用してみましょう。

ACTION  
02

コンポストを設置する。  
(食品残渣のたい肥化)



取り組みのヒント

- ✓ 産出された肥料を地域住民や農家へ配布し、その代わりに安く食材を提供いただくなどの循環施策を考えてみましょう。

ACTION  
03

容器包装の脱プラスチックを  
推進する。



取り組みのヒント

- ✓ リターナブル容器や再生紙材などを使った容器など、環境配慮を意識した容器包装の使用を推奨しましょう。

### サステナブルな 食材の選択

地域の産品を積極的に活用しましょう。地産地消でCO<sub>2</sub>削減に貢献するとともに、地域産業の活性化にもつながります。

ACTION  
04

地産地消を推進する。



取り組みのヒント

- ✓ 地元の食材を使ったメニューを開発し、地元の農家や飲食店のPRまでしてみましょう。

ACTION  
05

フェアトレード認証の食材や、  
プラントベースフードなどを活用する。



取り組みのヒント

- ✓ スポンサーと連携してフェアトレード食材等の環境配慮型の商品を開発し、積極的にPRしてみましょう。



## #5 グッズ

1/2

気候変動対策

循環型社会

生物多様性

### 3R徹底 | ごみの削減 (リデュース)

適切な製造計画を策定することが、廃棄物の削減につながります。リアルな物品に限らずデジタルを絡めたグッズの販売など、新しい形での体験提供も検討してみましょう。

 ACTION  
01

デジタル化(ノベルティやチラシ等の配布物を、ダウンロード可能なデータやクーポンで配布)



#### 取り組みのヒント

- ✓ デジタル化を目指しつつ、難しい場合製紙会社と連携し再生紙化を図りましょう。

 ACTION  
02

グッズは、アイテム数の適切な管理を行う。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 在庫管理が難しい場合は、グッズ会社に委託し在庫廃棄リスクを無くしてみましょう。

### 3Rの徹底 | リユース

一度利用された応援グッズやユニフォームの再利用を促進し、使い捨てによる資源ロスを削減しましょう。ファンへの啓発だけでなく、クラブで回収・再販売の仕組みも検討することで、取り組みの幅が広がっていきます。

 ACTION  
03

応援グッズなどは、繰り返し使えるもの・長く使えるものを企画する。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 応援グッズを捨てずに記念に残したくなるものにしたり、スポンサーの商品を活用してみましょう。



## #5 グッズ

2/2

気候変動対策

循環型社会

生物多様性

### 3Rの徹底 | リサイクル・アップサイクル

使用済みのグッズは積極的に回収し、素材ごとに分別・再資源化をすることで、廃棄物の削減が可能です。他にも、リサイクル素材等を活用した新たな商品開発も検討できます。

ACTION 04

積極的にアップサイクルを実施する。



#### 取り組みのヒント

- ✓ グッズを回収してアップサイクルし、新たなグッズ制作を行って販売することで、廃棄物を減らしてみましょう。

ACTION 05

イベントで余ったグッズを再販売・リサイクルする。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 別のキャンペーン時に活用したり、オークションや寄付を実施してみましょう。

### サステナブルな素材の選択

地域の特産品や地域産素材を活用したグッズ開発を行うことで、環境負荷の低減にも、地域産業にも貢献できます。

ACTION 06

地産地消の調達を行う。



#### 取り組みのヒント

- ✓ 地元の名産品、特産品、素材等を使ったグッズを地域のメーカー等と開発しPRしてみましょう。



## #6 地域課題解決

環境への取り組みを考える時には、地域ごとの課題を理解しておくことが大切です。今、地元でどのようなことが問題となっているのか、どんな取り組みを行えばより良い環境を作っていけるのか。日々関わる人々との対話を通じて、皆さんの地域ならではの取り組みのチャンスを見つけてみてください。最初から大きな構想を描くのもいいですが、まずは小さくてもトライしてみることがとても大切です。その実績をもとに、取り組みの輪をだんだん広げていきましょう。





領域	中項目	アクション例	気候変動対策	循環型社会	生物多様性
#1 クラブ経営	組織体制の整備	環境領域でのビジョン、方針を策定する。	●	●	●
		興行、大規模イベントにおいてCO <sub>2</sub> 排出量の削減目標を設定する。	●		
		サステナビリティ担当部署および責任者を設置する。	●	●	●
	ステークホルダーとの 連携・発信	情報発信を強化する。(WEBサイトの掲載、SNSの活用)	●	●	●
		サステナビリティ関連の認証取得・第三者との協定等を締結する。	●	●	●
		地域のステークホルダーと連携し、環境領域での事業を実施する。	●	●	●
	エネルギー効率化	冷暖房の効率化、クールビズ/ウォームビズを推奨する。	●		
		自社関連施設の節電を徹底する。	●		



領域	中項目	アクション例	気候変動対策	循環型社会	生物多様性
#2 会場運営	エネルギー・資源利用の最適化	灯油などの化石燃料の使用を避け、グリーン電力を使用する。	●		
		使用するガソリン車を、環境に配慮した車両 (EV車両・水素車) などへ積極的に転換する。	●		
		エネルギーの効率化 (LED照明、空調の省エネ、エネルギー管理システムの導入等) を行う。	●		
		節水の呼びかけをする。(トイレや手洗い)		●	
		雨水の再利用を推進する。			●
	3R徹底   ごみの削減 (リデュース)	新規制作物を削減する。(レンタル品やシェアリングサービスを活用)	●		●
		プラスチックごみを削減する。	●		●
		簡易梱包を採用する。(梱包材の廃棄物量を低減)	●		●
		給水スポットを準備する。	●		●
		チケットのデジタル化、ゲームデープログラムのデジタル化/再生紙化の推進を行う。	●		●
	3R徹底   リユース	使わなくなった備品、スポーツ用品のリユースを行う。	●		●
		試合やイベント運営における制作物に関して、長期間使用できる耐久性を考慮した設計・施工を行う。	●		●
	3R徹底   リサイクル・アップサイクル	各種備品は再生材の利用やリサイクル性に配慮したものを選ぶ。	●		●
		ゴミの分別を徹底する。	●		●
		分別したゴミのリサイクル、アップサイクル率を高める。	●		●
#3 移動・宿泊	エコ移動の推進	ウォークアブルを推進する。(周辺の歩行環境整備、イベント等を実施)	●		
		自転車の利用を促進する。	●		
		シャトルバスを運用する。	●		
	環境に配慮した宿泊先の選定や提携	環境配慮を実施しているホテルと連携する。	●		●
		宿泊するホテルに対し、環境配慮アクションを打診する。	●		●



領域	中項目	アクション例	気候変動対策	循環型社会	生物多様性
#4 飲食	3R徹底   ごみの削減 (リデュース)	食品ロスを削減する。	●	●	
		コンポストを設置する。(食品残渣のたい肥化)	●	●	
		容器包装の脱プラスチックを推進する。	●	●	
	サステナブルな食材の選択	地産地消を推進する。	●	●	
		フェアトレード認証の食材や、プラントベースフードなどを活用する。	●	●	
#5 グッズ	3Rの徹底   ごみの削減 (リデュース)	デジタル化(ノベルティやチラシ等の配布物を、ダウンロード可能なデータやクーポンで配布)	●	●	
		グッズは、アイテム数の適切な管理を行う。	●	●	
	3Rの徹底   リユース	応援グッズなどは、繰り返し使えるもの・長く使えるものを企画する。	●	●	
	3Rの徹底   リサイクル・ アップサイクル	積極的にアップサイクルを実施する。	●	●	
		イベントで余ったグッズを再販売・リサイクルする。	●	●	
サステナブルな素材の選択	地産地消の調達を行う。	●	●		

地域に密着したクラブ。地域の人々の拠点になるアリーナ。  
人々をつなぐバスケットボール。  
私たちが信じるエンタメの力で、  
PLANET (地球環境や気候変動対策) を推進するハブとなり、  
世界で最も愛されているリーグに1歩ずつ近づいていきましょう!

そして、こうした活動がクラブの力になり、  
ファンや自治体、企業の皆さまから賛同いただくことで、  
クラブの経営そのものも持続可能なものになっていく。  
B.LEAGUEは、そんな未来を皆さまと目指していきたいと思えます。

リーグからのサポート・問い合わせ先

[bhope-info@bleague.jp](mailto:bhope-info@bleague.jp)